

令和7年度に向けて

社会福祉法人 高寿会
理事長 菅野道弘

令和6年度も昨年度に引続き新型コロナウイルスの影響を受けたことにより、例年開催している各施設の行事の中止または縮小化をいたしました。さらにはご利用者、職員が新型コロナウイルスに感染し、サービス事業所の一時休業や施設内感染により入所者様、ご利用者様又そのご家族様には大変な思いをお掛けいたしました。十分な検証を行い今後の対策に役立てて参ります。感染の5類に新型コロナが移行はいたしました。当法人は高齢者がご利用する施設であることを常に忘れずに新年度も適切に感染対策を継続して参ります。

法人運営の面では、現在の介護保険事業の実施課題について各事業所、各職員やこれからの若い職員の提案も受けて改善の取り組みを行いました。また各事業所の職員と理事長、施設長等の法人職員との懇談会を開催いたしました。普段聞けない様々な現場の意見が出て大変有意義な会となりました。

令和7年度は高寿園居宅介護支援事業所と東部居宅介護支援事業所を併合しますが、これまでと同様に業務を遂行して参ります。又それ以外でも、来年度の運営状況によっては市と協議をする等、より検討を深めなければならない事業所もありますので充分精査してまいります。

今後更に介護職員の不足が心配されていることから、国の政策として介護ロボットの導入等による介護職員の負担軽減策が進められ、当法人でもここ数年、県や市の補助事業を活用して介護機器等を整備してきました。令和7年度も継続して介護職員の負担軽減を図る介護用機器の導入を進めます。

入所者や在宅利用者向けにインターネットを通じて様々な動画を見ることが出来るように新たな光回線契約を行い、ネットを通じてより楽しい施設作りを図って参ります。

今年も介護職員処遇加算の関連では、各事業所ともより上位の加算取得を目指していることから、職員処遇のアップに繋げていきます。更に積極的に介護や相談等の各種資格取得を目指せるようなキャリアパス制度の構築を目指します。

最後に令和7年度も役職員一同、当市の福祉事業のより一層の推進と地域の方々に望まれる社会福祉法人、施設を目指して努力を重ねて参る所存ですので、関係各位の皆様の変わらぬご指導とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。